

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 4 区分

【発行日】平成21年10月8日(2009.10.8)

【公開番号】特開2005-177996(P2005-177996A)

【公開日】平成17年7月7日(2005.7.7)

【年通号数】公開・登録公報2005-026

【出願番号】特願2003-417369(P2003-417369)

【国際特許分類】

B 4 1 J 2/01 (2006.01)

B 4 1 J 2/21 (2006.01)

B 4 1 J 2/205 (2006.01)

【F I】

B 4 1 J 3/04 1 0 1 Z

B 4 1 J 3/04 1 0 1 A

B 4 1 J 3/04 1 0 3 X

【手続補正書】

【提出日】平成21年8月26日(2009.8.26)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

光沢を有する第 1 の記録媒体に対して顔料を含有する顔料インクおよび染料を含有する染料インクを付与して画像を記録することが可能な第 1 の記録モードと、光沢のない第 2 の記録媒体に対して前記顔料インクおよび前記染料インクを付与して画像を記録することが可能な第 2 の記録モードと、を実行可能なインクジェット記録システムにおいて、

前記第 1 の記録モードにおいて前記第 1 の記録媒体の所定面積の領域に対して付与される前記顔料インクの最大量は、前記第 2 の記録モードにおいて前記第 2 の記録媒体の前記所定面積の領域に対して付与される前記顔料インクの最大量よりも少ないことを特徴とするインクジェット記録システム。

【請求項 2】

前記第 1 の記録モードにおいて前記顔料インクの付与量が最大となる前記領域に対して付与される前記染料インクの量は、前記第 2 の記録モードにおいて前記顔料インクの付与量が最大となる前記領域に対して付与される前記染料インクの量よりも多いことを特徴とする請求項 1 に記載のインクジェット記録システム。

【請求項 3】

前記顔料インクはブラックの顔料を含有したブラックインクを含み、前記染料インクはシアンの染料を含有したシアンインク、マゼンタの染料を含有したマゼンタインクおよびイエローの染料を含有したイエローインクを含むことを特徴とする請求項 1 または 2 に記載のインクジェット記録システム。

【請求項 4】

光沢を有する第 1 の記録媒体に対して顔料を含有する顔料インクおよび染料を含有する染料インクを付与して画像を記録することが可能な第 1 の記録モードと、光沢のない第 2 の記録媒体に対して前記顔料インクおよび前記染料インクを付与して画像を記録することが可能な第 2 の記録モードと、を実行するために、前記顔料インクおよび前記染料インクの付与量を決定するための決定装置であって、

前記第１の記録モードを実行する場合に、前記第１の記録媒体に記録すべき画像に応じて前記顔料インクおよび前記染料インクの付与量を決定する第１決定手段と、

前記第２の記録モードを実行する場合に、前記第２の記録媒体に記録すべき画像に応じて前記顔料インクおよび前記染料インクの付与量を決定する第２決定手段と、
を有し、

前記第１決定手段によって決定可能な前記顔料インクの単位面積あたりの最大付与量は、前記第２決定手段によって決定可能な前記顔料インクの単位面積あたりの最大付与量よりも少ないことを特徴とする決定装置。

【請求項５】

光沢を有する第１の記録媒体に対して顔料を含有する顔料インクおよび染料を含有する染料インクを付与して画像を記録することが可能な第１の記録モードと、光沢のない第２の記録媒体に対して前記顔料インクおよび前記染料インクを付与して画像を記録することが可能な第２の記録モードと、を実行するための処理をコンピュータに実行させるためのプログラムであって、

前記処理は、前記第１の記録モードを実行する場合に、前記第１の記録媒体に記録すべき画像に応じて前記顔料インクおよび前記染料インクの付与量を決定する第１決定工程と、前記第２の記録モードを実行する場合に、前記第２の記録媒体に記録すべき画像に応じて前記顔料インクおよび前記染料インクの付与量を決定する第２決定工程を含み、

前記第１決定工程によって決定可能な前記顔料インクの単位面積あたりの最大付与量は前記第２決定工程によって決定可能な前記顔料インクの単位面積あたりの最大付与量よりも少ないことを特徴とするプログラム。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】インクジェット記録システム、決定装置及びプログラム

【手続補正３】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００１

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００１】

本発明は、色材として染料を含有した染料インクと、顔料を含有した顔料インクの双方を具備し、同一の記録媒体に染料記録剤と顔料記録剤の双方を用いて記録を行うインクジェット記録システム、決定装置およびプログラムに関するものである。

【手続補正４】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００８

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００８】

本発明は上記問題点を解決するために成されたものであり、その目的とするところは、顔料を色材としたインクを用いて、濃度の高い画像を記録可能でありながら、光沢紙のような記録媒体においても、光沢感を損なわない状態でカラー画像を形成可能なインクジェット記録システム、決定装置およびプログラムを提供することである。

【手続補正５】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００９

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００９】

そのために本発明においては、光沢を有する第１の記録媒体に対して顔料を含有する顔料インクおよび染料を含有する染料インクを付与して画像を記録することが可能な第１の記録モードと、光沢のない第２の記録媒体に対して前記顔料インクおよび前記染料インクを付与して画像を記録することが可能な第２の記録モードと、を実行可能なインクジェット記録システムにおいて、前記第１の記録モードにおいて前記第１の記録媒体の所定面積の領域に対して付与される前記顔料インクの最大量は、前記第２の記録モードにおいて前記第２の記録媒体の前記所定面積の領域に対して付与される前記顔料インクの最大量よりも少ないことを特徴とする。

【手続補正６】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１０

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００１０】

また、他の本発明は、光沢を有する第１の記録媒体に対して顔料を含有する顔料インクおよび染料を含有する染料インクを付与して画像を記録することが可能な第１の記録モードと、光沢のない第２の記録媒体に対して前記顔料インクおよび前記染料インクを付与して画像を記録することが可能な第２の記録モードと、を実行するために、前記顔料インクおよび前記染料インクの付与量を決定するための決定装置であって、前記第１の記録モードを実行する場合に、前記第１の記録媒体に記録すべき画像に応じて前記顔料インクおよび前記染料インクの付与量を決定する第１決定手段と、前記第２の記録モードを実行する場合に、前記第２の記録媒体に記録すべき画像に応じて前記顔料インクおよび前記染料インクの付与量を決定する第２決定手段と、を有し、前記第１決定手段によって決定可能な前記顔料インクの単位面積あたりの最大付与量は、前記第２決定手段によって決定可能な前記顔料インクの単位面積あたりの最大付与量よりも少ないことを特徴とする。

【手続補正７】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１１

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００１１】

さらに、他の本発明は、光沢を有する第１の記録媒体に対して顔料を含有する顔料インクおよび染料を含有する染料インクを付与して画像を記録することが可能な第１の記録モードと、光沢のない第２の記録媒体に対して前記顔料インクおよび前記染料インクを付与して画像を記録することが可能な第２の記録モードと、を実行するための処理をコンピュータに実行させるためのプログラムであって、前記処理は、前記第１の記録モードを実行する場合に、前記第１の記録媒体に記録すべき画像に応じて前記顔料インクおよび前記染料インクの付与量を決定する第１決定工程と、前記第２の記録モードを実行する場合に、前記第２の記録媒体に記録すべき画像に応じて前記顔料インクおよび前記染料インクの付与量を決定する第２決定工程を含み、前記第１決定工程によって決定可能な前記顔料インクの単位面積あたりの最大付与量は前記第２決定工程によって決定可能な前記顔料インクの単位面積あたりの最大付与量よりも少ないことを特徴とする。